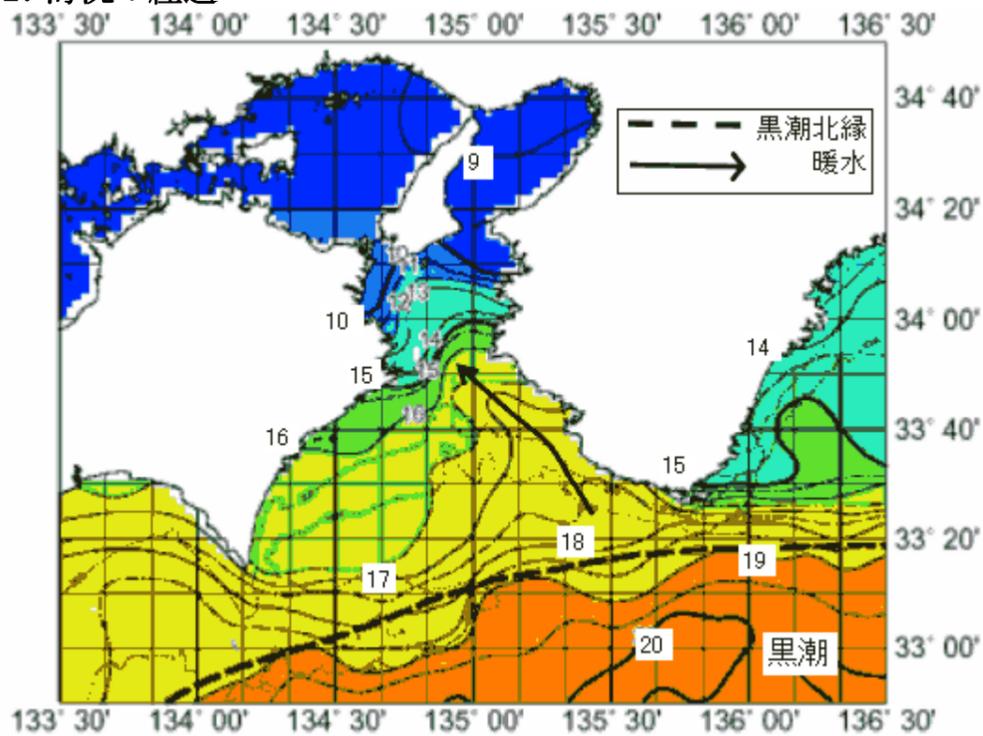


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.03.10)を示した。黒潮は室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は18～20℃台である。表面水温は播磨灘が8℃台、紀伊水道内部が9～15℃台、外域が14～18℃台である。潮岬沖の黒潮が接岸して流れているため、和歌山県側から黒潮系水が紀伊水道内部へ流入している。また15℃以下の紀伊水道内海系水が外域へ南下し、海部沿岸を覆っている。

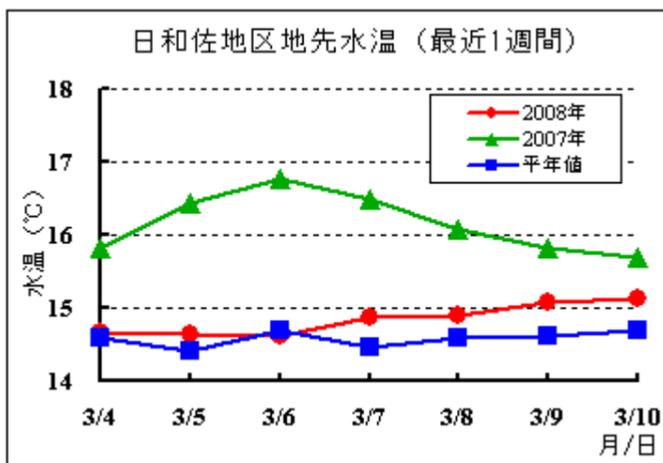
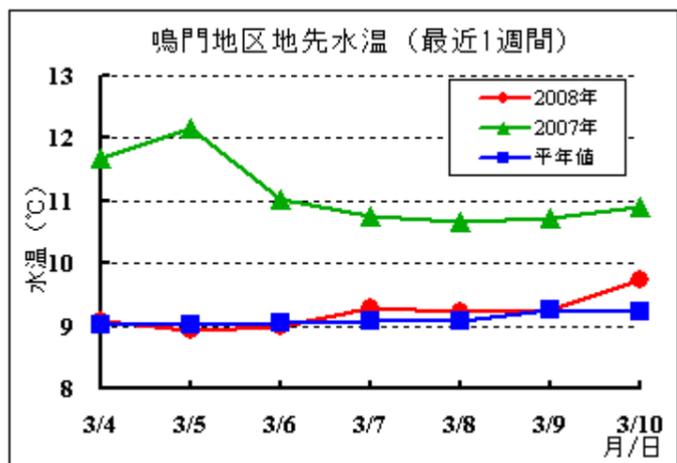
漁業調査船「とくしま」が3月7日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は各層とも「平年並み」の8.7～9.1℃であった。

播磨灘海区観測結果 (観測日 2008/02/07)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	9.1	8.8	8.7	8.7	今年値	33.4	33.4	33.4	33.4
平年偏差	0.1	0.1	0.1	0.0	平年偏差	0.7	0.7	0.7	0.6
前年偏差	-1.5	-1.7	-1.8	-1.9	前年偏差	1.0	1.0	1.0	0.9

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「やや高め」の8.9～9.7℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の14.6～15.1℃、牟岐地区は「かなり低め」～「高め」の14.0～15.9℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にアマダイが0.3トン(1日1隻あたり10kg)、大主体にトラフグが52kg(同5kg)水揚げされた。

建網:海部沿岸で、ヒラメが0.2トン(同4kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、小主体にマルアジが1.0トン(同44kg)、キビナゴが0.8トン(同17kg)、アオリイカが0.7トン(同9kg)、小主体にマアジが0.3トン(同12kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大主体にスルメイカが0.8トン(同84kg)、小小主体にマルアジが0.2トン(同27kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、タチウオが2.9トン(同45kg)、特大主体にヨコワが2.7トン(同66kg)、大主体にアオリイカが0.4トン(同7kg)、紀伊水道で特大主体にタチウオが3.1トン(同85kg)水揚げされた。

先週前半の暖水の波及に伴い、紀伊水道から海部沿岸でタチウオのまとまった水揚げがみられた。

パッチ網:紀伊水道で、イカナゴが30.7トン(同369kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)03月03日～03月09日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	29	302	10	大主体
		トラフグ	10	52	5	大主体
建網		ヒラメ	47	206	4	
小型定置網		マルアジ	23	1,014	44	小主体
		キビナゴ	43	750	17	
		アオリイカ	74	689	9	
		マアジ	25	290	12	小主体
大型定置網		スルメイカ	9	754	84	大主体
		マルアジ	9	239	27	小小主体
釣り		海部沿岸	タチウオ	64	2,910	45
	ヨコワ		40	2,654	66	特大主体
	アオリイカ		58	400	7	大主体
パッチ網	紀伊水道	タチウオ	36	3,068	85	特大主体
	イカナゴ	83	30,650	369		

特異事項:

海部沿岸の上灘で10cm前後のアカクラゲが出現し、小型定置網等に入網している。

暖水の波及に伴い、海部沿岸の下灘で操業する大型定置網にハリセンボンが大量に入網した。

週間予報:

黒潮は、室戸岬でやや離岸し、潮岬沖で接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の9～10℃台、日和佐地先で「やや高め」の15～16℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の曳き縄で、ビンナガが11.4トン(1日1隻あたり29kg)、カツオが8.4トン(同22kg)、キハダが1.3トン(同3kg)、釣りで、メジロが1.4トン(同5kg)、タチウオが0.3トン(同5kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、ブリが3.1トン、マアジが3.2トン、サバ類が5.9トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上